

編集後記

今号は標津の「歴史ある魅力」を残そうと奮闘されている2団体の方を紹介させて頂きました。どちらも共通するのは、“このまちが好き”ということでした。

標津町にはこんな魅力的な場所がある・こんな良い伝統音楽がある。これを生かしたときに“標津っていいところだね”と言ってもらえるし、もっと活気あふれる町にしていけるよね。だから歴史あるものを受け継いでいこうや。と標津を心から愛してる、そんな思いが伝わってくる2団体の皆さんでした。

sipeto もおかげさまで、第6号を発刊することができました。

標津に対する熱い想いーそれは、このまちが好きだからであり、もっと知ってもらいたいから。今回取材した2団体様の課題。それは若い人が少ないということでした。伝統は人が受け継いでいくもの。もっと多くの人に知ってもらう活動はまだまだ必要そうですね。

これからも標津への熱い想いのある方々を紹介していけるよう頑張ります。

(K)

— Special Thanks! —

あかつきダイニング
Aマート
川北郵便局
郷土料理武田
ぎんれい精肉店
くるくる2
合田商店

後藤商店書店部
標津漁協直売所
標津郵便局
セイコーマートこんどう標津店
セイコーマート標津まるよし店
セブンイレブン標津町店
大地みらい信用金庫標津支店

ファミリーレストランいしばし
福住
ホームックニコット
Kuni OFFICE
川北温泉愛好会
標津とどわら太鼓保存会
*五十音順・敬称略

Follow us on Facebook & Instagram & Twitter !!!

記事に収まらなかったこぼれ話やインタビューの様子などを更新！検索してみてくださいね。

f

Facebook

ig

Instagram

t

Twitter

— Information —

しべつろーかるふりーペーばー

sipeto

Nº6
Summer 2019

We are Ynet.!!!

2019年7月20日発行
発行人 Ynet.
発行所 〒086-1632
北海道標津郡標津町北2条西1丁目1番3号
標津町役場企画政策課内
TEL.0153-82-2131
FAX.0153-82-3011

●バックナンバーのご希望は上記までご連絡ください
●次回発行は2019年10月の予定です

しべつろーかるふりーペーばー

sipeto

Shibetsu Civic Pride Project by Ynet.

[CONTENTS]

発刊にあたって / Introduction to XXX of “sipeto”

インタビュー 12 川北温泉愛好会 - 13 標津とどわら太鼓保存会 / 編集後記 / and more

— Shibetsu Town —
Ynet.

皆さまのおかげで
2年目突入!!

Thank you

発刊にあたって

皆さんこんにちは。本紙を手にとっていただきありがとうございます。

私たち「Ynet.」は町民活動の活性化、町内ネットワークの拡大・構築を目指し組織された役場職員で構成するグループです。標津町には様々なまちづくりに関係する活動をしている団体や個人の方がいて、実際にお会いしてみると、標津町にはこんなにも味わい深い人たちがいるね、っと気づかされました。本紙の表題「sipeto(シベット)」は標津の語源になったとされるアイヌ語「シベツ」と日本語の「人(ト・to)」を掛け合わせた造語で、標津に住む活動的な方々をたくさんの方に知っていただきたく名付けました。

sipetoを通じて人の活動に込められた『想い』に触れて、知って、共感して、共に活動する方が一人でも増えることになればうれしく思います。

Ynet.

Touch, Know, Sympathize.

Introduction to XXX of “sipeto”

今回インタビューさせていただいた方たちのあるコト・モノについてのご紹介

川北温泉愛好会 - 『活動』

標津町が誇る名湯「川北温泉」。

国道244号線から約5km。険しい林道を走ること約20分。

その名湯は愛好会の皆さんの手によって支えられていました。

5/27に愛好会の皆さんによる川北温泉オープン作業。

浴槽の苔を汗だくになりながら落とし、休憩所の屋根を張り準備が整ったらお湯を張ります。

汗をかけた後の一番風呂は愛好会の皆さんの特権ですね。

愛好会の皆さんの温泉への思いで名湯「川北温泉」が楽しめるんですね！

《川北温泉》
●北海道標津郡標津町字川北1-3
・入浴可能期間…6月～10月中旬ごろまで（期間中は24時間無料で入浴可能）
・泉質・効能…泉質は含ホウ酸塩硫化水素泉。神経痛、リウマチ、婦人病、皮膚病等
お問合せ：標津町役場 商工観光課（0153-82-2131）

check

新会員募集中です！
詳しくは標津町役場商工観光課までお問い合わせください！

標津とどわら太鼓保存会 - 『曲』

とどわら太鼓保存会のレパートリーの多くは、標津の環境や風土から生まれたものです。朝方の静かな波の音、大平原を渡る風、漁船のエンジン音、忙しい仕事が始まる直前の一瞬の静寂。標津に暮らせば身の回りで聞ける音が曲のそこここに見つかり、一曲に織り込まれている情景に深みと広がりがあります。さらに音＝振動を全身で感じられる和太鼓の響きが、空気や地面を通してこれらの情景を体感させてくれるのも魅力。

今や祭りやイベントに欠かせない存在となり、子どものころからこれらの曲に親しんだ人々が増え、演奏者も世代交代してきて「郷土芸能」として成長し続けているとどわら太鼓が、今年も祭りの季節に響き渡ります。

《標津とどわら太鼓保存会の練習について》
●標津町生涯学習センター あすばる 多目的ホール
・練習日…毎週火・木曜日
・時 間…小学生 18:00 - 19:00
一般 19:00 - 21:00

check

新メンバー募集中です！
見学・体験 随時 OK！お気軽にお越しください。
お問合せ：あすばる（0153-82-2900）

Interview

想いを言葉にする。

12

川北温泉愛好会

---KAWAKITA SPA FUN---

秘湯を未来へ
継承したい。



写真：左から山下さん、村上さん、岩倉保夫会長、榎木さん、岩倉信子さん

― 団体が発足したのはいつ？

岩倉（保）昭和60年か61年頃だと思う。その前に金山せせらぎ温泉ができたけど、お湯が出なくなって、それであれば川北温泉にお客さんがたくさん来てくれていたんで、町から窓口を作ってくれないかというのが始まりだったように思う。それで、愛好会を立ち上げたのが前会長の村上さんだったんですよ。

― 当時の愛好会は何人いた？

榎木）12人。男6人女6人でだな。

岩倉（保）今は、協力者も含めて8人になったんですよ。去年まではね、もっと居たんですよ。

― 普段はどのような活動を？

岩倉（保）まあ見た通りの道路条件だからね、事故がないようにというのが1番の願いです。あとゴミというのはね、キレイにしていると皆さん持って帰るんですよ。でも、ちょっとでもあると皆さんそこにホイホイ置いて行っちゃうからね。お風呂の清掃も週1回は必ずやるのが基本的な考えだね。キャンピングカーで来て泊っていく人も結構いるもんだから、その人たちが来た時に「お願いしますねー」って言うのと結構キレイに掃除してくれるんですよ。俺はできるだけ朝来るようにしているんですよ。というのは、女風呂に朝はいないからね。



川北温泉は男女別の脱衣所も完備

― 今一番力を入れている活動は？

岩倉（保）なんだろ。会員募集だな（笑）

― 川北温泉をもっとこうしたいということとは？

榎木）それは、道路の舗装が1番だ。この砂利道な

ら来たくないでしょ。

岩倉（保）願わくば、電気がすぐそこまで来てるんですよ。それをここへ期間的にでもね、引っ張ればなとは思いますがね。電柱3本くらいいだわな。電気がそこまで来てるんで、それをここまで引っ張るいい知恵ないですか。

大桃）それはいい考えだよな。俺も思ったのよ、電気がここまでくればいい。

山下）お湯は良いから明治時代から使ってる。

榎木）相当泉質はいいみたいだよ。

岩倉（保）まず道路の舗装より、電気が先だな。川北温泉は、標津町の観光地の一つだと思うんだよね。だから、みんなで守っていきたいよね。そのためには老若男女問わず、会員が増えてくれればいいな。

― 夜に来る方も？

岩倉（保）車のバッテリーから電気を取ってやれば電気つくんだよ。

榎木）昼間は消えて、暗くなったらつく電気が1つあればいいな。

― 温泉をずっと継続的に大切にに使ってもらいたいと。

岩倉（保）願わくばね。愛好会に若い人が入ってくれば。

― 愛好会のメンバーは北標津地区の方が主ですね

岩倉（保）俺の考え方としてはね、湯本の近くにいるんだからなにかでも協力できることがあるんじゃないかという考え方でやってるんです。入るときは嫌々だったんですけど、入ってみたらね、やっぱり地元として協力していくのが当たり前なんだなっていうふうに心を入れ替えしたんだよね（笑）

― 川北温泉の魅力は？

岩倉（保）まずはお湯がいいことだな。地図に温泉マークが入ってるでしょ。温泉マークだけで随分来ますからねー。本当は、あんまり宣伝したくないですよ（笑）

― 置いてあるノートを見て励まされることはある？

岩倉（保）あーあるある！全部コピーして会の方に

回してくれるんですよ。いやいや、愛好会のみならずにお礼申し上げますっていうのが多いな。

《川北温泉思い出ノートの一部を紹介》

□ 6/30 斜里

ついに川北温泉オープンしました！！関係者の方々ありがとうございました。これから毎週末です。

□ 9/1 長野

長野からきました。長野にもいい温泉はたくさんありますが川北温泉は最高に素晴らしい温泉です。愛好会の管理のおかげです。

□ 9/7 西川北

西川北からきました。川北温泉サイコー

□ 9/13 山口県

山口県岩国市から毎年来てます。川北温泉最高

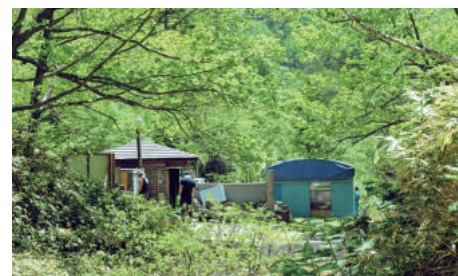
□ 9/30

フランスとカナダのカップルです。とてもよく穏やかな時間を過ごしました。ありがとうございます。

― 川北温泉だけじゃなくて、標津町の魅力は？

岩倉（保）空気がおいしい、山菜がおいしい。

山下）山の魅力ったらこの温泉だ。この自然の中で温泉に入ったら最高だ。



離れて見てみると、まさに大自然の中の秘湯



写真：左から渋谷会長、千葉名誉会長、成田さん、遠藤さん

13

標津とどわら太鼓保存会

---SHIBETSU TODOWARADAICO---

100年、200年と
続けていきたい。

― 発足時期と今の構成メンバーは？

渋谷）発足したのが昭和44年11月で、現在メンバーは30人くらい。

成田）そのうち7名くらいが小学生です。

― 設立時から30人くらいいた？

千葉）当初渋谷（辰雄）元会長が標津の町内の盆踊りの太鼓を叩こうっていうところから始めて、それで叩いているうちに、和太鼓を作るっていうことで、一人、二人と増えて、だいたい5、6人の状態の中から始まったっていうのが当初の昭和44年。

― 主な活動内容を教えてください。

成田）主は地域のイベントでの演奏ですね。演奏回数はだいたい年間20回くらいになると思います。千葉）以前は本州など幅広く出ていたんですけど、ここ15、6年は景気が悪いもんですから、なかなか行けなくなりました。道東では、何かあればできる限り出演させてもらっていて、代表的には標津では成人式に始めて、水キラリ、そしてあきあじ祭り、神社例大祭の祭りとか、あとはまなす苑の慰問は毎年出演させてもらっています。

遠藤）平成21年にジュニアコンクールで、全国大会にも1回出場してるんですよ。

― これまで継続されてきて苦労してきたことは？

一同）メンバーの人数だね。

遠藤）5人とかの時もあったもんね。

千葉）昭和56年に本当に数えるくらいしかいなくなってね。それで何年か続けていって、また元に戻ったというか、なんとか繋いできたっていう経緯があ



インタビュー時の様子

ります。その頃は本当に辛い思いをしながら演奏してきたけども、それでも標津の行事には欠かさず出てきましたんで、それは逆に誇りに思っているのかな。それがあって今があるのかなと思っています。

― 今年50周年ということで何か予定は？

成田）水キラリの中でも一部使わせていただいて、近郊のチームを呼んで演奏会やるのと、あと、11月9日に記念演奏会と祝賀会を予定しています。

― 今一番力を入れている活動や今後の目標は？

成田）やはり、チームが長く続いてきて、元々いるメンバーも結構年取ってきたりとかしているので、若い人がどんどん入ってきてほしいなと思ってますね。50周年と言わず、100年、200年と続いていけるように勢いつけていきたいと思いますね。千葉）もう一つはやっぱり、ジュニアですね。ジュニアに育てていただいて、そしてある程度全道全国大会に出れるような状態にしたいなと。そして、優勝狙えるメンバーづくりはしたいなと思っています。

― 日々の活動で大切にしているものは？

成田）礼儀だとかもある程度教えてますね。挨拶と、あと練習の時の靴の揃え方、服の並べ方もですね。千葉）練習の終わりには皆輪になってね、挨拶して終わっていて、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」っていうこの合言葉も、忘れないで使うようにしてかなきゃダメなのかなって、そういう風に思ってます。

― 活動して良かったことは？

成田）やっぱり終わった後のメンバーの顔見て、やったなーって思いますね。

遠藤）やっぱりね、こういうことやっていると、感動してもらえるっていうのがさ、俺たちの励みなんだわ。そしてやっぱり「いやあ、いい！」って言われたらさ、本当にその言葉だけで、やって良かったと思う。そういう心の繋がりができることだけでもうちらも励みなんだよね。

千葉）今修学旅行生が標津に来る時によく演奏をさせてもらってるけど、その時に皆さんが感動してくれて、

先生なんか涙流して喜んでくれるっていうね。ああ、やって良かったなって思う。

― 太鼓の曲目としては、何曲くらいある？

成田）レパートリーは、すぐできるのはだいたい6、7曲くらい。先代の渋谷会長が作ったものと、後から手直ししたり新たに作ったものも含めてです。

遠藤）全体では15、6曲くらいある。

渋谷）うちらがモチーフにしているのが、この標津町の自然をテーマにしてやっているからね。

成田）海に関する曲が割と多いですね。

千葉）ここらの周りの自然をモチーフにした曲を作っているっていうのが、うちの太鼓の魅力ですよ。金山流れ打ちにしても、あの武佐岳の湧き水の1滴から始まって来るんだよってところから、太鼓が始まるわけ。渋谷会長が作った波に、こう、厚みをかけるというか、付加、アレンジを加えて今に至っているんだね。

― 今後子供達に引き継いでいきたいものは？

遠藤）技じゃなくて、心なんだよね。その辺をしっかり繋げないと、技だけの人間だったら太鼓ってダメなんだ。やっぱり心がちゃんとした演奏しなきゃならないんで、その辺は常にね。そうやって先輩たちに教わったし、後輩にもそうやって教えてきてる。

― とどわら太鼓を観にくる人たちに感じてもらいたいことは？

成田）恥ずかしがらずステージに上がってきてもらえるような演奏じゃなきゃね。もっと打ち解けて、周りの人と、打ち解けて演奏していきたいですね。



インタビュー当日に練習していたメンバーで